

応募書類記載要綱

様式1の記載要領

1 提出日

応募書を提出する年月日を記入してください。

2 ふりがな、氏名

略字等を使わず、印鑑登録証明書等に記載されている表記で氏名を記入してください。また、外国籍の方は、パスポートに記載された表記で氏名を記入してください。

3 連絡先

電話、ファックス、E-mail、携帯電話を所有の方はその番号を記入してください。

4 応募理由

本学専任教員に応募する理由について記入してください。

様式2（履歴書）の記載要領

□共通事項

- ・ 紙幅が不足する場合は、欄を追加してください。
- ・ 外国籍の方の場合は、母国語で記入して差し支えありませんが、その場合は日本語による訳文を添付してください。（以下同じ。）

1 「氏名」欄

略字等を使わず、印鑑登録証明書等に記載されている表記で氏名を記入してください。
外国籍の方は、パスポートに記載された表記で氏名を記入してください。

2 「生年月日（年齢）」欄

生年月日は、年号で記入し（以下、年号で記入することについて同様）、現在の満年齢を記入してください。

3 「現住所」欄

都道府県から記入してください。

4 「学歴」欄

- ① 高等学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する方は、これらの学歴(学位及び称号を含む。)のすべてについて入学と卒業(修了)の別に記入し、その他の方は、最終学歴について記入してください。なお、資格等についても記入してください。
- ② 大学の別科、専攻科については「学歴」欄に、研究生、聴講生等は「職歴」欄に記入してください。
- ③ 学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格等についても「学歴」欄に記入してください。この場合、登録番号等も付記してください。
- ④ 外国における資格については、正確に記入するとともに、その資格の内容について併記してください。
- ⑤ 外国留学については、学生としての留学の場合は「学歴」欄に記入し、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入してください。
- ⑥ 博士課程を出てまだ博士号を取得していない方の学歴は、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。

5 「職歴」欄

- ① 職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記してください。自営業、主婦、無職等についても省略しないで「職歴」欄に記入してください。
- ② 「職歴」は、各職歴について、在職期間が明確になるように記入してください。なお、現職については、必ず「(現在に至る)」と明記してください。

- ③ 応募領域に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入してください。
- ④ 大学等の教員の職歴については、主な担当科目を「 」で付記してください。
非常勤講師としての職歴についても、担当科目を付記してください。
- ⑤ 過去における大学設置・学校法人審議会（旧大学設置審議会を含む。）の教員組織審査における教員の資格があると認められた方は、審査年月、大学名（学部学科名・研究科専攻名を含む）、専任・兼担・兼任、職名及び担当授業科目名を記入してください。大学院にあたっては、判定結果（**合**、合、可）を記入してください。なお、学内審査は、対象になりません。
- ⑥ 研究生、聴講生等は、職歴欄に記入してください。
- ⑦ 研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入してください。

6 「学会及び社会における活動等」欄

- ① 本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入してください。
なお、所属学会名は正確に記載してください。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記述してください。
- ② 社会における活動は、例えば、国・自治体等の審議会、委員会等について記入してください。

7 「賞罰」欄

賞罰がない場合は、「なし」と記入してください。

8 「職務の状況」欄

- ① 記入日現在における職務の状況について記入してください。
- ② 「専任」「兼担」「兼任」の別について、当該大学等の専任の教員が、2以上の学部の学科、短期大学の学科もしくは大学院の専攻にわたり授業を行う場合は、1の学科等に限り専任とし、その他は兼担とすること。当該専任大学以外の大学等の授業を担当している場合は、兼任（＝非常勤）となります。
- ③ 「毎週担当授業時間数」は、当該科目が前期のみ又は後期のみの開講の場合は、前期又は後期の時間数を、集中講義の場合は、総時間数を記入し、その旨を「備考」欄に記入してください。
- ④ 教員以外の方は、勤務先、職名の欄のみ記入するとともに、現在の職務内容を「備考」欄に簡潔に記入してください。
- ⑤ 自営業、主婦、無職等についても省略しないで「職歴」欄に記入してください。

様式3（教育研究業績書）の記載要領

□ 共通事項

- ・ 紙幅が不足する場合は、欄を追加してください。
- ・ この書類は、担当希望授業科目等に関連する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び著書、学術論文等（発行又は発表が予定されているものを含む。）について作成すること。

□ 「氏名」欄

「氏名」の欄の印は、本人の署名をもって代えることができる。

□ 「教育上の能力に関する事項」「職務上の実績に関する事項」欄

- ① 「概要」の欄には、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項の概要について、教育上の能力に関する事項の各欄、職務上の実績に関する事項ごとに200字程度で具体的に記入すること。
- ② 「事項」の欄については、応募領域に関連する教育上の業績及び職務上の業績を年月日順（過去→現在）に簡潔に記入すること。

（項目例）

□ [教育上の能力に関する事項]

「1 教育方法の実践例」

- ・ 優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開等

「2 作成した教科書、教材」

- ・ 作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要（後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「再掲」と表示）

「3 実務の経験を有する者についての特記事項」

- ・ 大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護・福祉実習、企業実習等）
- ・ 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要
- ・ その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、講演、職員、関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記載してください。

「4 その他」

- ・ 大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- ・ 教育実績に対する受賞歴 等

□ [職務上の実績に関する事項]

「1 資格、免許」

- ・ 資格について、応募領域の教育の内容に関するものなど、関連すると思われるものについて記載してください。

「2 特許等」

- ・特許等の知的財産を所有の有無について記載してください。

「3 実務の経験を有する者についての特記事項」

- ・実務経験の記載方法については、「職歴」欄に記入した事項を中心に、応募領域の授業科目に対応した以下の事項を参考に記載してください。

- ① 従事した期間
- ② 職務の内容（どのような職務について、どのような役割を果たしたか）
- ③ 成果、結果

「4 その他」

1 から 3 に該当するもの以外の事項について幅広く記載してください。

- ① 応募領域に関連する教育上の業績、職務上の実績等がある場合には、その業績等を記載した書類を添付してください。様式自由。

□ 研究業績等に関する事項

・「著者、学術論文等の名称」欄

- ① 「著者、学術論文等の名称」の欄については、著者、学術論文及びその他の順に適切に区分し、それぞれ年月順（過去→現在）に、各区分ごとに番号を付して記入すること。著書等は、過去 5 年程度のものを中心に、記入してください。（実務家教員については、この限りではありません。）

- ② （著書）

「名称」欄には本の表題を記入してください。

- ③ （学術論文）

ア 論文集、学術雑誌、学会機関誌、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものを記入してください。

イ 学位論文については、その旨明確になるよう記入してください。

ウ 筆頭論文である場合は、その旨明記してください。

- ④ （その他）

「翻訳」「辞典」「白書」「年鑑」「学会発表」「作品」等を記載してください。

・「単著、共著の別」欄

1 冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著として整理してください。

・「発行又は発表の年月」欄

著者、学術論文等で発行又は学会誌等での発表予定のものについては、その旨を明記し、出版社や学会からのその旨の証明書を添付すること。なお、書類提出時以降に投稿予定のものは含めないでください。

・「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」欄

発表学会誌等は、その名称の他、巻・号まで明記してください。

・「概要」欄

- ① 「概要」の欄には、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び著書、学術論文等の概要について、教育上の能力に関する事項の各欄、職務上の実績に関する事項及び各著書、各学術論文等ごとに200文字程度で記入すること。
- ② 著書、学術論文等の概要及び頁数について、各著書、学術論文等ごとに明確かつ簡潔に記入してください。
- ③ 共著の場合は、本人の担当部分（概要及び掲載頁（p. ○○～p. ○○）を示してください）を明記し、また、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著者及び学術論文等に記載された順（例：編者△△△△、分担執筆○○○○、□□□□、××××）に記入すること。
- ④ 共著の場合でも、本人の担当部分を抽出するのが困難な場合には、その理由を明記してください。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能）。

様式4（教育・研究に関する抱負）の記載要領

担当可能な分野・領域について、実際に担当した場合、どのような授業を行いたいかなど教育に関する方法も含めて具体的に記入してください。なお、欄が不足する場合は足しても構いません。